

## 京都府防災講座で 宗門の活動を紹介

京都府災害ボランティアセンターが2月13日に開いた防災人養成講座で、本山・社会部〈災害対策担当〉の農信部長が講演した。

農部長は令和2年7月豪雨について、コロナ禍で熊本県外からの災害ボランティア受け

入れが困難な中での宗門の災害支援活動について語り、「物資支援や義援金など、遠隔地

からできる支援活動を行った。ホームページを次々と更新し、現地ではどのような物資が必要なのかをタイムリ―に知らせ、的確に物資を送れるようにした。今回の災害は、コロナ禍での今後の災害ボランティアのあり方を考える機縁となった」と話した。

このほか、被災地の熊本教区寺院が近隣住民の避難所、そして支援物資の集配拠点となったことを紹介した。